

# がいこくじんしゅみん 外国人市民のための ぼうさい 防災ガイドブック

しぜんさいがい そな  
自然災害に備えて



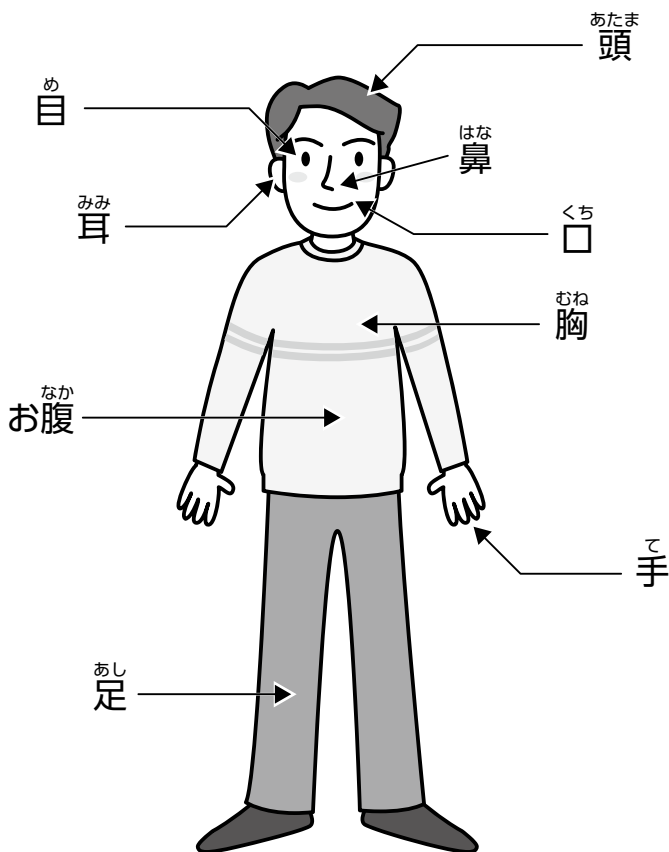
◎南海トラフ地震が発生した場合、市内の平野部の多くが津波で浸水すると想定されています。

◎表層は花崗岩に多く覆われており、風化すると「まさ土」と呼ばれる土砂災害が発生しやすい地質で、砂防、急傾斜とも危険箇所が多くあります。

はや ひなん  
早めに避難しよう!!

にほんご おぼ  
日本語を覚えよう。もしものために。

- 火事<sup>かじ</sup>です
- 助<sup>たす</sup>けてください
- 救急<sup>きゅうきゅうしゃ</sup>車 / 消防<sup>しょうぼうしゃ</sup>車<sup>よ</sup>を呼んでください
- 避難<sup>ひなんじょ</sup>所はどこですか？
- 避難<sup>ひなんじょ</sup>所へ連<sup>つ</sup>れて行<sup>い</sup>ってください
- ○○が痛<sup>いた</sup>いです
- けがをしました
- 今<sup>いま</sup>、○○にいます
- ここはどこですか？
- ○○○語<sup>ご</sup>がわ<sup>ひと</sup>かる人いますか？
- トイレ、病院<sup>びょういん</sup>、コンビニ、公衆<sup>こうしゅうでんわ</sup>電話



メモ

# はじめに

災害時には、「こうすれば、絶対大丈夫！」という答えはありません。なぜなら、そのときの災害によって必要な対応が違うからです。

災害が起きたときに被害を少なくするためには、前もって防災について知っておくことが大切です。

日本の生活に慣れていなかったり、日本語がわかりにくい時には、災害の正しい情報がわかりにくいこともあるでしょう。文化や生活習慣の違いから、避難する時や避難所などで周りの人との誤解が生じることもあるかもしれません。

日頃から、緊急時の日本語を覚えたり、周りの人とつながりをもったり、日本の生活ルールを知っておくことは大切です。過去の大きな災害では、近くに住む人に助けられた人もたくさんいます。

この本は、自然災害とその対応方法を全て紹介していません。わからないことやもっと知りたいことは詳しく調べて、災害時に困らないよう、日本の暮らしや自分のまちのことを知っておきましょう。

また、家族や知りあいとも日頃から防災についての話し合いをするとよいでしょう。

この本の空欄には自分で調べたり確認したことを書いてみてください。そして、防災についての知識や意識を深めて、災害が起きたときに役立ててください。

災害時の基本は、まずは「自分のことは、自分で守る」ことです。

## もくじ

災害に備えて	4	災害の時に使う日本語	12
江田島市一時避難所一覧	7	避難所で使う日本語	13
自然災害		リンク集	14
ある程度予測ができるもの	8	防災メモ	15
予測が難しいもの	9	緊急時の連絡先	16

# さいがい そな 災害に備えて

## ① ひなんじょ かくにん 避難所の確認

避難所とは、災害時に避難するところです。例えば学校や公民館などです。市役所で教えてもらえます。自分が危険だと感じた時や、市から避難準備情報や避難勧告、避難指示があった時には、避難所に行きましょう。避難所でできることは、「寝ることができる」、「食事がもらえる」、「災害や生活の情報を知ることができる」等です。住民だけでなく、観光客や、偶然そこに来ていた人など、災害時にはだれでも使うことができます。国籍も関係ありません。自分の住む地域の避難所を確認し、どのような時にどこを通過して、どこに避難したらよいのかも確認しておきましょう。また、近くにある病院・コンビニ・公衆電話の場所も確認しておきましょう。

市役所では、「ハザードマップ」(自然災害が起きたときの被害の予想地域や避難所などが書かれている地図)を配布していますので、事前に確認しておきましょう。

自分で家の周辺マップを作りましょう

避難所・病院・公衆電話など書いてみましょう。

### 避難所では

多くの人と一緒に過ごします。いろいろな決まりがあります。

たとえば…

- 靴をぬぐ
- トイレの使い方、ゴミの捨て方
- 食べものを配る時間や量
- 周りの人の迷惑にならないようにする など

自分の生活習慣や宗教などによって、戸惑うこともあるかもしれません。わからないことは周りの人に聞き、できないことは相談してみてください。

## ② 近所の人などとの協力





災害時には、周りの人との助け合いが必要です。助けを求めている人がいたら、手をかしてあげたり、子供や高齢者・身体の不自由な人がいたら、助け合ってください。日頃から、近所の人とつながりをもつように心がけておきましょう。地域でのつながりは、自分の安心・安全にもつながります。

## ③ 非常持ち出し品

いざというとき、ただちに避難をするためには、日ごろから非常持ち出し品を準備しておくことが必要です。過去の地震災害では、家屋が倒壊して、非常持ち出し品を取り出せないケースも多くありました。取り出しやすく、災害の影響を受けにくい場所に置くようにしましょう。

(日頃からリュックなどに入れてすぐに持ち出せるように準備しておきましょう。)

### ▼食品

 <p><input type="checkbox"/> 水</p>	 <p><input type="checkbox"/> 非常用食料</p>	 <p><input type="checkbox"/> タオル, ティッシュ</p>	 <p><input type="checkbox"/> 衣類</p>
---	---	--	---

### ▼貴重品

 <p><input type="checkbox"/> 銀行などの通帳</p>	 <p><input type="checkbox"/> 印鑑</p>	 <p><input type="checkbox"/> パスポートや 外国人登録証 (在留カード:2012.7~)</p>	 <p><input type="checkbox"/> 健康保険証の コピー</p>	 <p><input type="checkbox"/> 現金 10円玉：公衆電話に使います</p>
---	--	---	---	---

### ▼その他

 <p><input type="checkbox"/> 携帯電話と 充電器</p>	 <p><input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備の電池)</p>	 <p><input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備の電池)</p>	 <p><input type="checkbox"/> ナイフ, ライター</p>	 <p><input type="checkbox"/> 救急用品</p>
---	--	---	---	--

## ④ 緊急時の日本語と緊急情報の入手

ニュースなどの災害時の情報は、ほとんどが日本語です。そして、災害時には間違っ  
たうわさが流れるなど情報も混乱します。避難所では母国語が通じないかもしれません。  
多言語での情報提供には限界があります。普段から簡単な日本語を聞き取ったり読めるよ  
うにしておく<sup>やくだ</sup>と役立ちます。(P.2・13参照<sup>さんしやう</sup>)

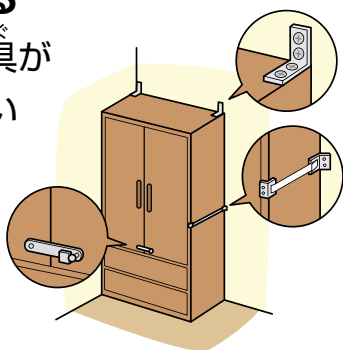
緊急情報は、TVのテロップや携帯電話のエリアメールで流れることがあります。  
日本語の情報です。日頃から注意してみましょう。

## ⑤ 家中・家の周りの安全対策

災害に備えて、日頃から家中・家の周りの安全対策を確認しましょう。

### ① 家具を固定する

→地震などで家具が  
倒れると危ない  
です。



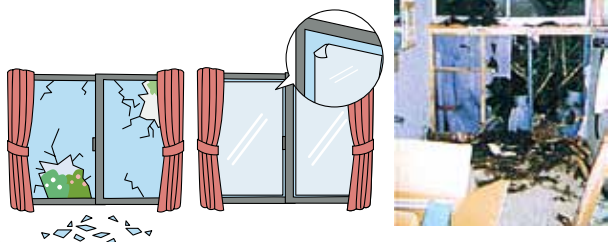
### ② 廊下や出入口に物を置かない。

→避難のじゃまになります。



### ③ 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る

→壊れたガラスが  
飛び散ると危ないです。



### ④ 屋根や塀など壊れかけているところ はないか確認する。

→屋根の瓦が落  
ちてきたり、  
塀が倒れるな  
ど危ないです。



## ⑥ その他

建物にこのようなマークがあるところは、非常口です。  
緊急時にこのマークのドアから逃げましょう。

非常口マーク



# 江田島市一時避難所一覧

事前に、どの災害に対応している避難所か確認しておきましょう

町名	施設名	地震	土砂	高潮	津波
江田島町	①江田島保健センター	○	○	○	○
	②鷺部公民館	○	○	○	×
	③江南ふれあいセンター	○	○	○	×
	④秋月公民館	×	○	②	×
	⑤江田島コミュニティセンター	○	○	②	③



町名	施設名	地震	土砂	高潮	津波
江田島町	⑥切串公民館	×	○	○	×
	⑦幸ノ浦老人集会所	×	×	○	×
	⑧大須公民館	×	×	②	×
	⑨津久茂児童館	○	○	○	×
	⑩宮ノ原隣保館	○	○	○	×
能美町	⑪鹿川公民館	×	○	○	○
	⑫鹿川文化センター	○	○	○	②
	⑬中町公民館	○	○	○	×
	⑭高田公民館	○	○	○	②

町名	施設名	地震	土砂	高潮	津波
沖美町	⑮沖美公民館	×	○	②	×
	⑯沖美ふれあいセンター	○	○	○	○
	⑰沖美支所	×	×	○	○

町名	施設名	地震	土砂	高潮	津波
大柿町	⑱大柿公民館	×	○	○	○
	⑲大柿厚生文化センター	×	○	○	×
	⑳融光会館	○	○	○	②
	㉑旧大君小学校	×	○	②	×
	㉒柿浦老人集会所	○	○	×	×
	㉓大柿厚生文化センター	×	○	○	×
	㉔飛渡瀬老人集会所	○	○	○	×
	㉕深江老人集会所	×	○	○	×

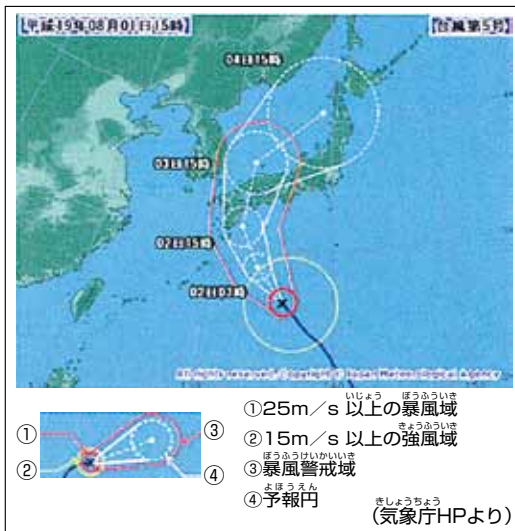
# しぜんさいがい 自然災害

## 〈ある程度予測ができるもの〉

### 台風

日本の西～南西方角から来て、北東へ進むことが多いです。毎年、日本に上陸しています。広島県を通ることもあります。台風たいふうのときは、大雨おおあめ、大風おおかぜ、土砂災害どしゃさいがい、高潮たかしお・高波たかなみなどが予想よそうされます。台風たいふうの中心を「台風たいふうの目」と言い、「台風たいふうの目」は雨や風はほとんどありません。しかし、その周りまわは雨や風あめ かぜがあります。完全に通り過ぎるまで、注意ちゅういしましょう。

### 台風の図



### 大雨

台風たいふうや大雨おおあめにより、川かわが氾濫はんらんしたり、家いえの中に水みずが入はいることがあります。住すんでいる地域ちいきによっては、高台たかい（高いところ）へ避難ひなんすることも必要ひつようです。



### 土砂災害

大雨おおあめや地震じしんなどにより、弱よわくなった斜面しゃめんの土砂どしゃがくずれることがあります。山やまや崖がけの近くちかには近づかないようにしましょう。地滑じすり、土石流どせきりゅうにも注意ちゅういしましょう。



### 津波

地震じしんの後あと、津波つなみ（高い波）が来たかることがあります。海岸かいがんや川かわの近くちかにいる時は、すぐときに高台たかい（高いところ）へ避難ひなんしましょう。津波つなみが来こないと確認かくにんできるまで近づかないようにしましょう。



よそく おすか  
〈予測が難しいもの〉

じしん  
地震

じぶん ばしょ くるま なか なか おくがい み あんぜん まも  
自分のいる場所（車の中、エレベーターの中、屋外など）によって、身の安全を守る  
ほうほう ひなん ほうほう かわ ひなんほうほう  
方法、避難の方法が変わります。どのようなときに、どのような避難方法があるか、あらか  
かくにん  
じめ確認しておくといいです。

じしん  
地震のときのこと

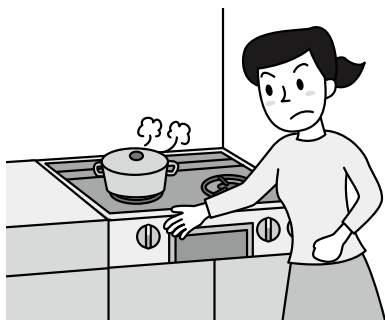
じぶん かぞく あんぜん まも  
①自分と家族の安全を守る

じょうぶ つくえ した からだ かく あたま  
丈夫なテーブルや机の下に体を隠し、頭  
まも  
を守る



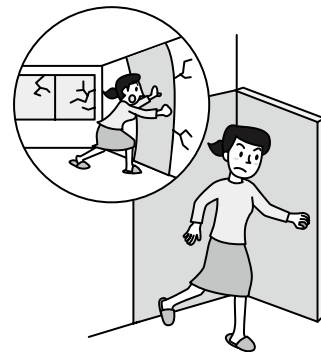
ひ で  
②火が出たら、まずは消す

ちい ひ おお かさい  
小さな火でも、大きな火災につながる。  
ちい じしん ひ け しゅうかん  
小さな地震でも火を消す習慣をつけてお  
く。



と まど あ でぐち  
③戸や窓を開けて出口をつくる

じしん たてもん でいりぐち あ  
地震により、建物の出入口が開かなくな  
る場合がある。  
たか たてもん ひなん でぐち  
とくに高い建物では、避難のための出口  
かくほ じゅうよう と まど あ  
の確保が重要。できれば戸や窓を開けて  
しよいじょう かくほ  
2ヶ所以上は確保しておく。



そと と だ  
④あわてて外に飛び出さない

そと と だ あぶ まわ  
すぐに外に飛び出すのは危ない。周りを  
たし  
よく確かめてから、おちつ っこう  
落ち着いて行動する。



⑤ <sup>せま</sup>狭い道や<sup>へい</sup>塀の<sup>ちか</sup>近く、<sup>かわ</sup>がけ、<sup>ちか</sup>川に<sup>ちか</sup>近づかない  
 そとでは<sup>べい</sup>ブロック塀が<sup>たお</sup>倒れたり、<sup>まど</sup>窓ガラス  
<sup>かんばん</sup>や<sup>お</sup>看板などが<sup>お</sup>落ちてくる<sup>とき</sup>時がある。<sup>あたま</sup>頭を  
<sup>まも</sup>守って<sup>あんぜん</sup>安全な<sup>たても</sup>建物か<sup>ちか</sup>近くの<sup>ひろば</sup>広場へ<sup>ひなん</sup>避難す  
 る。



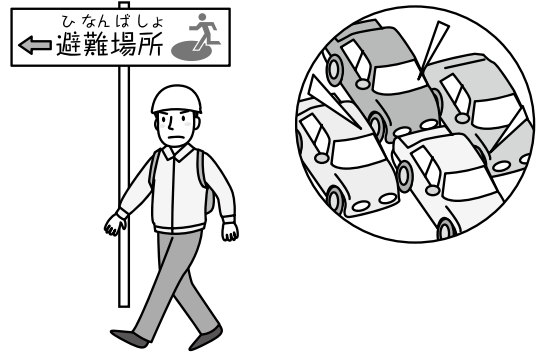
⑥ <sup>し</sup>指示に<sup>したが</sup>従う  
 おお<sup>ひと</sup>多くの人があつ<sup>さいがい</sup>まる<sup>ところ</sup>ところでの<sup>さいがい</sup>災害は<sup>パニ</sup>ニック  
 を<sup>ひ</sup>引き<sup>お</sup>起こし<sup>しがち</sup>がち。自分<sup>じぶん</sup>で<sup>か</sup>勝手に  
<sup>はん</sup>判断<sup>だん</sup>せず<sup>その</sup>その<sup>ばしょ</sup>場所での<sup>か</sup>係員<sup>かりいん</sup>の<sup>し</sup>指示<sup>したが</sup>に従い  
 お<sup>ち</sup>落<sup>つ</sup>ち<sup>こうどう</sup>着いて<sup>こうどう</sup>行動する。



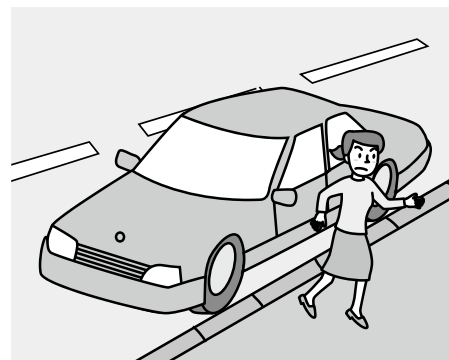
⑦ <sup>くず</sup>がけ<sup>つなみ</sup>崩れ、<sup>ちゆうい</sup>津波に<sup>ちゆうい</sup>注意する  
 がけ<sup>くず</sup>崩れが<sup>お</sup>起き<sup>ちいき</sup>そう<sup>かいがん</sup>な<sup>ちいき</sup>地域や<sup>かいがん</sup>海岸では、  
 すぐ<sup>ひなん</sup>避難する。  
 うみ<sup>ちか</sup>海の<sup>ちか</sup>近くでは<sup>つなみ</sup>津波が<sup>く</sup>来る<sup>ことがある</sup>ことがあるの  
 で、<sup>じしん</sup>地震が<sup>あんぜん</sup>おさま<sup>たか</sup>ったら<sup>たか</sup>安全な<sup>たか</sup>高い<sup>ばしょ</sup>場所  
 に<sup>ひなん</sup>避難する。



⑧ <sup>ある</sup>歩いて<sup>に</sup>逃げ<sup>も</sup>ましょう、<sup>もの</sup>持ち物<sup>さいしょうげん</sup>は<sup>さいしょうげん</sup>最小限に  
 する  
 じどうしゃ<sup>つか</sup>自動車を<sup>つか</sup>使うと、<sup>じゅうたい</sup>渋滞<sup>お</sup>が<sup>お</sup>起き、<sup>しょうか</sup>消火・  
<sup>きゅうえん</sup>救<sup>きゅうごかつどう</sup>援・<sup>きゅうごかつどう</sup>救護活動<sup>の</sup>の<sup>じゃま</sup>じゃまになる。



⑨ <sup>じどうしゃ</sup>自動車は<sup>ひだり</sup>「左」<sup>と</sup>によ<sup>と</sup>せて<sup>と</sup>停<sup>と</sup>める  
 じどうしゃ<sup>うんてんちゆう</sup>自動車を<sup>うんてんちゆう</sup>運<sup>じしん</sup>転中<sup>お</sup>に<sup>お</sup>地震<sup>お</sup>が<sup>お</sup>起き<sup>たら</sup>たら、  
 じどうしゃ<sup>ひだり</sup>自動車を<sup>ひだり</sup>「左」<sup>と</sup>によ<sup>と</sup>せて<sup>と</sup>停<sup>と</sup>める。



⑩ <sup>あ</sup>あ<sup>つ</sup>わ<sup>こうどう</sup>て<sup>こうどう</sup>ない。<sup>さ</sup>さ<sup>こうどう</sup>わ<sup>こうどう</sup>が<sup>こうどう</sup>ない。<sup>さ</sup>さ<sup>こうどう</sup>わ<sup>こうどう</sup>が<sup>こうどう</sup>ない。<sup>さ</sup>さ<sup>こうどう</sup>わ<sup>こうどう</sup>が<sup>こうどう</sup>ない。  
 する  
 さいがいじ<sup>こんらん</sup>災害<sup>こんらん</sup>時には、<sup>こんらん</sup>う<sup>こんらん</sup>わ<sup>こんらん</sup>さ<sup>こんらん</sup>など<sup>こんらん</sup>に<sup>こんらん</sup>混<sup>こんらん</sup>乱<sup>こんらん</sup>して<sup>しま</sup>しま  
 う。<sup>ほうどうきかん</sup>報<sup>しやくしょ</sup>道<sup>しょうぼう</sup>機<sup>けいさつ</sup>関<sup>けいさつ</sup>や<sup>けいさつ</sup>市<sup>けいさつ</sup>役<sup>けいさつ</sup>所<sup>けいさつ</sup>、<sup>しょうぼう</sup>消<sup>けいさつ</sup>防<sup>けいさつ</sup>・<sup>けいさつ</sup>警<sup>けいさつ</sup>察<sup>けいさつ</sup>など  
 から<sup>しょうぼう</sup>の<sup>ちゆうい</sup>情<sup>ちゆうい</sup>報<sup>ちゆうい</sup>に<sup>ちゆうい</sup>注<sup>ちゆうい</sup>意<sup>ちゆうい</sup>する。



# 震度と揺れの様子

- **マグニチュード**…地震の大きさの単位
- **震度**…地面の揺れの強さ
- **震源**…地震の起点
- **緊急地震速報**…大きな揺れの前に地震を予想してテレビ・ラジオ・携帯電話メールなどで知らせるニュース(数秒～数十秒後に地震が来るかもしれません。)

<p>震度 0</p>	<p>人は揺れを感じない。</p> 	<p>震度 5弱</p>	<p>不安定な家具が倒れたり、塀がくずれたり、食器や本が落ちることがある。</p> 
<p>震度 1</p>	<p>室内にいる一部の人が揺れを感じる。</p> 	<p>震度 5強</p>	<p>たんすなどの重い家具が倒れることがある。自動車の運転が難しい。</p> 
<p>震度 2</p>	<p>室内にいる多くの人が揺れを感じる。吊り下がったものが少し揺れる。</p> 	<p>震度 6弱</p>	<p>た立っていることが難しい。建物の壁や窓ガラスが壊れる。ガスの導管や水道管に被害が発生。</p> 
<p>震度 3</p>	<p>室内にいるほとんどの人が揺れを感じる。棚の食器類が音を立てることがある。</p> 	<p>震度 6強</p>	<p>は這わないと動くことができない。</p> 
<p>震度 4</p>	<p>不安定な置物などが倒れることがある。</p> 	<p>震度 7</p>	<p>自分の意思で動くことができない。</p> 

# さいがい つか にほんご 災害のときに使う日本語

ちゅういほう 注意報	さいがい お 災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかける予報です。 おおあめちゅういほう こうずいちゅういほう ちゅういほう つか 「大雨注意報」「洪水注意報」など「〇〇注意報」と使います。
けいほう 警報	おお さいがい お 大きな災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかける予報です。「大雨警報」「洪水 けいほう つか 警報」など「〇〇警報」と使います。
とくべつけいほう 特別警報	けいけん いじょう げんじょう お じょうよう いちち まも こうどう 経験したことの無いような異常な現象が起きそうな状況です。ただちに命を守る行動をと ってください。
ぼうふうう 暴風雨	はげ かぜ あめ 激しい風と雨。
ぼうふういき 暴風域	たいふう はったつ ていきあつ しゅうへん へいきんふうそく いじょう かぜ ふ ふ かのうせい 台風や発達した低気圧の周辺で平均風速が 25m / s 以上の風が吹いているか、吹く可能性 のある領域。
きょうふういき 強風域	ふうそく いじょう みまん かぜ ふ りょういき 風速が 15m / s 以上 25m / s 未満の風が吹いている領域。
ふうそく 風速	かぜ ふ はや たんい 風の吹く速さ。ふつう m / s の単位。
さいだいしゅんかんふうそく 最大瞬間風速	きかんない しゅんかんふうそく さいだいち ある期間内での瞬間風速の最大値。
たいふう 台風	おおがた ちょうおおがた つよ ひじょう つよ もうれつ ことば 大型、超大型、強い、非常に強い、猛烈な などの言葉がつくことがあります。
たいふう ごう 台風〇号	としごと たいふう ばんごう つ よ 年毎に「1」から台風に番号を付けて呼びます。
らいう 雷雨	かみ な あめ ふ かわら 雷が鳴って雨が降ること。 * 雷 (thunder)
いちじ とぎどき ①一時 ②時々 ③のち	げんじょう はっせいじかん よほうきかん みまん げんじょう はっせいじかん よほうきかん みまん ①現象の発生時間が予報期間の 1 / 4 未満 ②現象の発生時間が予想期間の 1 / 2 未満 よほうきかん ぜんはん こうはん げんじょう ③予報期間の前半と後半で現象がちがう。
よしん 余震	じしん お あと ひ つつ お じしん きほ お かいすう 地震が起きた後、引き続いて起きる地震。規模や起きる回数はいくつあります。 なんにちかん つつ 何日間も続くことがあります。
ひなん 避難	さいなん さ ほか ところ にげ 災害を避けて他の所へ逃げること。
ひなんじょ ひなんばしょ 避難所・避難場所	ひなん ところ 避難する所。
ひなんかんこく 避難勧告	しちょう ほつびょう ひなん すず じょうほう じんてきびがい ほつせい かのうせい たか じょうよう 市長が発表する、避難を勧める情報。人的被害が発生する可能性が高くなった状況です。
ひなんしじ 避難指示	ひがい きげん せつぱく だ きょうせい しじ したが ひなんじょ 被害の危険が切迫したときに出されます。強制ではありませんが、指示に従い、避難所へ ひなん 避難しましょう。
ひなんじゅんびじょうほう 避難準備情報	しちょう ほつびょう ひなん じゅんび よ じょうほう ひなん じかん ひつよう ひと はや ひなん 市長が発表する避難の準備を呼びかける情報です。避難に時間が必要な人は早めに避難し ましょう。
こうずい 洪水	おおあめ ゆき かせん そうずい はんらん お さいがい 大雨・雪どけなどによって河川の増水・氾濫により起こる災害。
しんすい 浸水	みず みず はい こ れい ゆかうえんすい たてもの ゆか うえ みず 水につかること。水が入り込むこと。(例：床上浸水《建物の床の上まで水につかること》)
がけくずれ 崖くずれ	きゅうしゃめん どしゃ おおあめ じしん お 急斜面にある土砂が大雨・地震によってくずれ落ちること。
けいかい 警戒	まんいち そな ちゅうい ようじん 万が一に備え、注意し、用心すること。
はんかい 半壊	たてもの こわ 建物などが 20 ~ 50% 壊れること。
つなみ 津波	たか なみ いじょう たか つなみ いえ ひと なか 高い波 (10m 以上の高さになることもあります。津波で家や人などが流されることがあります。)

# ひなんじょ つか にほんご 避難所で使う日本語

1	うけつけ 受付	15	た 食べるものは _____時_____分に配ります。
2	きゅうごしよ 救護所	16	きんえん 禁煙
3	おとこ 男	17	あぶ 危ない
4	おんな 女	18	さわるな
5	たちいりきんし 立入禁止	19	きんしゆ 禁酒
6	しやうきんし 使用禁止	20	くつ 靴をここで脱いでください。
7	きつえんじよ 喫煙所	21	きちやうひん じぶん かんり 貴重品は自分で管理してください。
8	トイレ	22	しつない 室内では静かにしましょう。
9	このみずの この水は飲めます。	23	しょうとうじかん 消灯時間：_____：_____
10	このみずの この水は飲めません。	24	びやうにん けがにん 病人・けが人がいるときは本部にお知らせ ください。
11	けいたいでんわ でんげん き 携帯電話の電源を切ってください。	25	ここにごみを捨てないでください。
12	けいたいでんわ 携帯電話はマナーモードにしてください。	26	も 燃えないごみ
13	けいたいでんわ 携帯電話はここでかけてください。	27	も 燃えるごみ
14	りやうじかん 利用時間：_____分以内	28	そのた その他のごみ

# リンク集 しゅう

ひろしまけんぼうさい 広島県防災 web	http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/
(日本語, 英語, 中国語, ポルトガル語, 韓国語 他)	
どしゃさいがい 土砂災害ポータル ひろしま (日本語)	http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx
きしょうちょう 気象庁	(日本語) http://www.jma.go.jp/jma/
	(英語) http://www.jma.go.jp/en/warn/index.html
そうむしょうしょうぼうちよう 総務省消防庁 ※ 防災マニュアルあり	(日本語) http://www.fdma.go.jp/
	(英語) http://www.fdma.go.jp/en/
いちざい じちたいこくさいかきょうかい (一財)自治体国際化協会 たげんごせいかつじょうほう 多言語生活情報	http://www.clair.or.jp/tagengo/index.html
(日本語, 英語, 中国語, ポルトガル語, 韓国語, タガログ語 他)	
がいこくじんじゅうみんさいがいしえんじょうほう 外国人住民災害支援情報 (一部多言語情報あり)	http://www.clair.or.jp/tabunka/shinsai/index.html



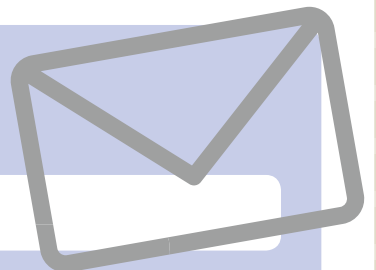
## えたじま お知らせメール (日本語)

えたじまし じょうほう はいしん  
江田島市の情報をメールで配信します

えたじまし こうきょうこうつうじょうほう ろせんけんさく こそだ じょうほう  
江田島市では、公共交通情報 (路線検索サイト), 子育て情報,  
さいがい きんきゅうじょうほう しょうぼうじょうほう はいしん ていきょう  
災害・緊急情報, 消防情報のメール配信サービスを提供しています。

ぜひご利用ください!

つぎ の QR コードから登録できます。



えたじましぼうさい にほんご さいがい ぼうさいじょうほう でんたつしゅだん  
江田島市防災ツイッター (日本語) …災害・防災情報の伝達手段

こうしき  
公式アカウント URL https://twitter.com/etajima\_bousai

ぼうさい にほんご さいがいじ ひなんじょ かくにん  
防災ARアプリ (日本語) …災害時の避難所の確認

「みたチョ」をスマートフォンにダウンロード! して利用 →



# ぼうさい 防災メモ

なまえ	
こくせき 国籍	
けつえきがた 血液型	
パスポート No	
がいこくじんとうろくしょう 外国人登録証 No <small>(在留カード No : 2012.7 ~)</small>	
にほん じゅうしょ 日本の住所	
でんわばんごう 電話番号	じたく 自宅
	けいたい 携帯
どうきよしやしめい 同居者氏名	
しよくば けんしゅうさき 職場・研修先 学校など	めいしょう 名称
	じゅうしょ 住所
	でんわ 電話
にほん し あ 日本の知り合い の連絡先	しめい 氏名
	じゅうしょ 住所
	でんわ 電話
じこく れんらくさき 自国の連絡先	しめい 氏名
	でんわ 電話
にゆうこくかんりじむしょ 入国管理事務所	
たいしかん りょうじかん 大使館・領事館	

しやくしよ 市役所
ガス
でんき 電気
すいどう 水道

ほかひつよう れんらくさき その他必要な連絡先
----------------------------

かぞく れんらくほうほう  
家族で連絡方法を決めておきま  
しょう。

# きんきゅうじ れんらくさき 緊急時の連絡先

きゅうきゅうしゃ しょうぼうしゃ  
救急車・消防車

## 119



けい さつ  
警 察

## 110



きゅうきゅうしゃ しょうぼうしゃ な とお みち  
救急車・消防車がサイレンを鳴らして通るときは、道をゆずってください。

## さいがいようでんごん 災害用伝言ダイヤル

いっばんでんわ けいたいでんわ こうしゅうでんわ  
(一般電話、携帯電話・PHS、公衆電話からかける  
ことができます。)

ひさいしゃ でんごん ろくおん ほか ひと き こえ でんごん  
被災者が伝言を録音し、他の人が聞くことができます。声による伝言です。

つか かた  
使い方

ろくおん

録音する

①

⑦

①

▶ ① ▶

じぶん いえ でんわばんごう  
自分の家の電話番号

▶ ろくおん  
録音

き  
聞く

①

⑦

①

▶ ② ▶

れんらく ひと  
連絡をとりたい人の  
いえ でんわばんごう  
家の電話番号

▶ さいせい  
再生

## けいたいでんわなど さいがいようでんごんばん 携帯電話等のインターネットの災害用伝言板サービス

ひさいしゃ けいたいでんわなど りよう もじ にゅうりょく ほか ひと み  
被災者が携帯電話等を利用して文字メッセージを入力し、他の人が見ることができま  
す。文字による伝言です。

つか かた  
使い方

けいたいでんわ さいがいようでんごんばん とうろく かくにん  
携帯電話の「災害用伝言板」のサイトに登録・確認

\* 毎月一日、十五日、防災週間などに「災害用伝言ダイヤル」と「災害用伝言板体験サービス」の  
体験ができます。まず、ため 試してみましょう。

がいこくじんしみん ぼうさい えたじまし  
外国人市民のための防災ガイドブック ~江田島市~

ねん かつはっこう  
【2015年8月発行】

はっこう へんしゅう  
発行・編集

えたじまし ききかんりかん ききかんり か  
江田島市危機管理監危機管理課

〒737-2392

ひろしまけん えたじまし のう み ちょうなかまち ばん ち  
広島県江田島市能美 町 中町4859番地9

☎0823-40-2218 Fax0823-45-3301